

令和5年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和5年9月26日（火）

地 区 錦町・本町地区

会 場 文化交流センター

<意見交換>

◆市民 大町の・・・といいます。本当は要望の中に書いておけばよかったんですけど、申し訳ございません。

簡単な2点、一つが、二条通の街路樹の剪定をしてもらう。これは今日も見ましたけれども、錦町、それから大町、同じように街路樹が高くなっております。それで、これから秋になりますと、落ち葉が相当、葉っぱがまた大きいんですよ、30センチぐらいの大きな葉っぱで、これがまた毎日風が吹いてきますので、中通のほうも出てきますので、私どももできるだけ掃除をしておりますので、ちょっと3年に1回ぐらいですけど、剪定をまたお願いしたいと思っておりますけど、よろしくをお願いします。

○司会 では、街路樹の剪定について、市からの回答をお願いします。

◎緑地公園課長 緑地公園課の小山内といいます。どうぞよろしくお願いいいたします。

街路樹の剪定ですね。毎年皆さんからいろいろご要望いただいておりますけれども、今おっしゃられましたように、要所要所、剪定をしながら、またこちらも見させていただきながらやりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。

また後でお話を伺いたいと思っておりますので、よろしくお願いいいたします。

○司会 後ほど場所の確認をお願いします。

それでは、次の方、いらっしゃいましたら挙手をお願いします。

◆市民 幸町二丁目に住んでいる・・・といいます。よろしくお願いいいたします。

私も街路樹の件で要望があるんですが、幸町二丁目一条通なんですが、住んでいるところが、北側の枯れているライラックの木がとても気になっていまして、その枯れている木をなるべく早急に撤去していただきたいのと、街路樹を決める際に、できれば丈夫で、塩害とかにも強い、落ち葉がないような。また、運転手さんから見て視界を妨げないような木を選定というか、選んでいただくようによろしくお願いいしたいなと思っております。お願いします。

◎緑地公園課長 緑地公園課の小山内でございます。そうすると、後でまたその場所を確認いただきまして、枯れている木については伐採させていただきますので、少しまたお話をさせていただきますので、樹木の選定、樹木を選ぶ際に、苫小牧市はもともと海に近いですから、昔から塩害に強い木、成長の早い木をたくさん植えております。

その中には、黒松だとかそういったものがあるんですが、葉の落ちない樹木というのはなかなか、どうしても落葉しないのはなかなかないものですから、その辺については、皆さんのご協力をいただきながら、市でも清掃活動をしながら、適宜、落ち葉を片づけていたりするんですけれ

ども、落葉しづらいというものであれば、例えば先ほどご紹介しました黒松ですとか、そういったものを、その辺の南側については多く入れているかと思しますので、今回伐採した木については、補植をするかどうかというのはまた見ながら考えたいと思いますけれども、今後、街路樹の選定をする際に、地域に合った木を選定していきたいと思しますので、どうかご理解をお願いしたいと思います。

後で伐採する場所については確認させていただきます。

○司会 よろしいでしょうか。

次に、発言のある方、挙手をお願いします。

◆市民 幸町の・・・です。

今、司会のほうから、町内に関わる件ということで、具体的に町内に関わらなかったらどのようにしたらよろしいでしょうか、後からということで。いわゆる職員の対応、それと、市の公共文書に関した件ですから、一町内に関わることじゃなくて全町内に関わることだと私は思いますが、よろしいでしょうか。

○司会 お答えできるところはお答えできますし、担当が来ていない部分につきましては、後ほど回答するような形でお願いいたします。

どうぞお願いします。

◆市民 幸町の・・・です。

いわゆる介護保険の費用負担割合、これは8月に公開されました。新規に、包括センターだとかケアマネジャーから、7月の半ばあたりから、再三再四、いわゆる市の負担割合証は来てないでしょうかという、そういう問合せが来ました。とにかく8月だからもうちょっと待ってよと、まだ市から来ませんという話をしていたんですけども、とにかく包括センター、ケアマネ、事業所が、とにかくコピーを早くいただきたいということで。

7月26日、まだ着かないものですから電話をしました、担当課に。そうしたら、担当課の方に三、四十秒待たされまして、既に、とっくに送っています。郵便局で滞留していると思えますという返事でした。

じゃあ、参考までにいつ送られましたか、ちょっと教えてください、もうケアマネがうるさいもので言ったら、また三、四十秒待たされました。出てきた言葉、昨日送りました。え、昨日は今日25日ですよと言ったら、その職員は、ええ、今日26日ですから、昨日は25日ですと。落語をしているんじゃないですよ。郵便局、滞留していますと、ふざけるなという言い方ですね。

なぜかという、これは6月の定例会で、やはり態度の問題で、福祉部長がいろいろ答弁して、もうひとつですか、副市長さんが、指導いたしますと。じゃあ、職員に対して何を具体的に、どの誰にどういう指導をしたんですかということを知りたい。これが1点です。

もう一点、福祉部長名で同じく福祉ハイヤー助成の取扱いについての文書が出ました。今までいわゆる乗車オンリーだったのが、いわゆるストレッチャーに乗せます、車椅子に乗せます、ベッドから動かします、という料金についても補助として使うことができますよという、そういう改定通知文書です。

その中に、Q&Aで、「往復で使った場合は、2回分になりますか。」という質問、事例が出ていました。その答えは、「お見込みのとおりです。」何か勘違いしていませんか。福祉部長で出す文書、お見込みのとおりというのは、確信を持った推定ですよ。市長がいつもおっしゃっているように、なぜ理解しやすい、分かりやすい文書、往復の場合、2回かかりますかといったら、ええ、往復の場合は2回かかりますよと、何でそういう簡単なことができないのかしらという気がいたします。

これ、ふくし大作戦ということで市長がやっています。そうした中で、福祉部長も文書を見るんだったらちゃんと見て、理解しやすい、分かりやすい、そういう文書を発行するという気持ちをなぜ持てないのかなという点でございます。

これはいわゆる個人的な話というより町内というか、市全体の問題ですからあえて言わせてもらいますけども、ましてや6月の定例会で、そうやって福祉部長が説明して謝罪している中、その後、いわゆる副市長、山本さんがお答えして、指導していますと、それから一月もたたないで、落語でもあるまいし、今日26日ですから昨日ですよと、昨日の夕方送ったのがとっくにですか、そして、郵便局が滞留しているからしばらくかかります……。

○司会　・・さん、少々長くなって……。

◆市民　という感じがございます。

○司会　本日、福祉部の職員が来ていないんですが、木村副市長のほうから回答いたします。

◎副市長　副市長の木村でございます。私のほうからご説明できる範囲で・・さんの今のお話に対してご回答させていただきたいと思っております。

おっしゃるとおり市の職員としては、市民の声をしっかり聞いて、分かりやすい対応をすること、これは基本中の基本でありますし、どういった形で市民の方に寄り添って仕事をしていくかというところは、本当に基本だと思っています。

6月議会のお話もございました。それで、ちょっと私も見させていただきましたけれども、福祉部長の答弁としては、不適切な対応があったものについて、制度の説明にとどまらずに、利用者的心声を丁寧に聞き取るよう心がけてまいりたいというような答弁をしました。山本副市長からも、そういった職員に対してしっかり指導していくというような答弁だったと記憶をしています。

福祉部長としては、心がけたいという部分については、部長自身もそういった思いだったと思っておりますし、やっぱりそういう心がける対応をしっかりと職員に対しても指導教育をしていきたいというような思いでそういう言い方になったと思っておりますが、福祉部としても、その後、この事案を踏まえて、部内会議、課内会議において、市民対応においては、相手の困り事に寄り添いながら、丁寧に説明するようという指導をしております。

それから、特に相手の顔が見えない電話などについては、制度の説明にとどまることなく、相手の思いを酌み取るようにしてほしいというようなお願いを通じて指導をしてきたというふうには伺っています。

やはり私どもも部長会議の中でも、市長が平仮名の「ふくし」というところを表明しながら、福祉の心を伝えていこうということを常に申し上げておりますけれども、部長会議の中でもこの平

仮名の「ふくし」というのは、どういった意味合いなのかということも各部で考えていこう、考えてみようということで、それぞれの部で自分たちがやっている福祉の心というのはどういうことなのかということころは、協議をしたこともあります。

総じて、やはり私たち市民のために、市民の生活向上のために仕事をしておりますので、福祉の施策だけではない、それが福祉ではなく、それも福祉ですけども、各部署が取り組んでいる施策それぞれが福祉につながるんだという思いを込めて、意識をしながら仕事をしていきたいと思いますところも話し合った経緯がございます。

そういった意味では、今・・・さんがおっしゃっていた、文書の書きぶりですとか、そういうのは、やはり分かりやすく丁寧にきちっと伝えなきゃいけないなというふうに私どもも思っていますし、そこを福祉部だけの問題ではございませんので、市全体としてそういうものを、いま一度、きちっと考えましょうというふうに私は思いました。

ですから、6月議会にもありましたし、今の・・・さんの質疑も踏まえて、今後とも職員に対するそういう指導教育も含めて、私どももやっていきたいと思っておりますので、ぜひよろしくお願いしたいと思います。

◆市民 もう一点。郵便局を悪者にするような物の言い方を止めてもらいたいんです。郵便局を悪者にするような物の言い方自体をね。言葉遣いというのは少し考えてほしいんですね。

◎副市長 分かりました。本日の・・・さんのお話は、担当部署にもしっかり伝えておきます。

◎市長 あと、福祉ハイヤーのQ&Aについては、明日、僕自身が確認します。

◆市民 お願いします。

○司会 その他の発言はございますでしょうか。挙手をお願いします。

◆市民 楽しい前座、ありがとうございました。

一区町内会の・・・と申しますが、9月16日の民報に除雪作業の見える化ということで、とても市民サービスの向上や、職員の負担軽減になるとうれしたことだと思ったんですが、いつも除雪がある。これからまた雪がたくさん降るだろうな、家の前が固い雪で山積みになります。

それは除雪の範囲内なのか、市民が自分の前、できるだけ道路に出さないようにということで、自分の前はきれいにするんですけど、その後、ああ、来たなと思うと、もう大体進行方向に向かって左側が、右側が前に出ているから、ちょうどうちの前にどさっと雪が来るんですね。それで、その音を聞いて、いつも玄関前に行きます。それで、じっと見ていると、戻ってきて少し持っていったりはするんですけども、やっぱりすごく固いですよ。

そういう、うちの前に残る雪の除雪というのは、どのように考えたらいいか、市民の役割としてしなくちゃいけないのか、ちょっとその辺を伺いたいなと思っています。

○司会 ありがとうございます。除雪に関するご質問です。お願いします。

◎維持課長 除雪を担当しております、市役所の都市建設部維持課の小田と申します。日頃より、市民の皆様には除雪作業のご協力賜りまして、大変ありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。

今お話がありましたご自宅の前の雪山の件なんですけれども、数年前にこういったパンフレッ

トを全戸に配布をさせていただいたんですけれども、この中にも書かせていただいているんですけど、まず、前提としましては、市の除雪といいますと、車道をこういうブルドーザーといいたいでしょうか、除雪の機械でかき分けまして、道路の両端に雪山をつくるという除雪をさせていただきますので、やはりどうしても自宅前に雪山は残ってしまいます。

間口の除雪、基本的には協力をお願いしますということで、こういうふうなお知らせをさせていただいているんですけれども、近年、例えば雪降ったときはまだあったかいですけど、その辺り、寒波が入りますと凍ってしまうと、なかなか人の力では取り切れないことがございましたら、こちらにやはり私どもの糸井のほうに道路の事務所があるんですけれども、そちらの73-5000番にお電話をいただけましたら、まず職員が1件、1件いただいている情報につきましてはお宅に伺いまして、状況を見せていただきます。

その際、場合によっては職員のほうで雪よけ等もいたしますし、ちょっと時間はかかるかもしれないんですけれども、業者の方に頼みまして雪よけのほうもやっていますので、まずは、一度73-5000番のほうにお電話いただけましたら、対処させていただきたいと思いますので。

◆市民 そういうの、見たことがない。

◎維持課長 さようでございますか。市役所のほうに何部かございますので、もしよろしければ、何かでお越しの際にお渡しいたします。

◆市民 配ってはいないんですか。

◎維持課長 全戸に配布させていただいていますので。

◆市民 いつ頃。

◎維持課長 2年前の秋頃。

◆市民 見たことがないです。

◎維持課長 さようでございますか。市役所に戻ったらありますので、もしよろしければお越しく下さい。以上でございます。

○司会 それでは、次に発言のある方は挙手をお願いします。2回目の方でも構いませんが、いらっしやいますか。

◆市民 一区町内会の・・・と申します。

私、家が苫小牧駅の近くのマンションなんですけども、うちの窓から線路が見えるんですけども、そこをMEGAドン・キホーテあたりから線路上、鹿が大量に走っているのを近年、本当に数日前に見まして、もう町中が鹿だらけになっている状況です。

その点について、苫小牧市の鹿に対する考え方をお伺いしたいのと、あと、その中で、鹿に対することで、王子製紙の中に鹿が大量に今いますよね、白金町の社宅跡地ですとか。

そのことについて、王子製紙側に何か鹿対策を働きかけるということは市がしないのかということと、あと、私個人的に、苫小牧市から北光町の未来の森公園で畑を借りてやっています。そうすると、何回も言ったことがとあるんですけれども、鹿の食害で非常に困惑を皆さんしております。

そのことについて、以前お伺いしたところ、何か自己対策で各々にとの話があったんですが、近年、鹿が凶暴化して、自分たちで柵を造っても、それをなぎ倒して中に入ってきてしまう。そ

れでは、結局は鹿を育てるじゃないですけど、そういう温床になってきて、もう個人で対応するには限界があるような気がするんです。

ですので、僕の私案としては、できるならば、少々利用料金が高くなっても構わないので、そういう農園を貸し出すときに、鹿対策の柵というのを市側で造っていただけないか。そうすることによって農園利用者も安心して使えますし、鹿対策で餌になるようなこともなくなるのではないかということをご提案したいなと思うんですけども、そのことについて市側の意見をお伺いしたいと思います。

◎**環境生活課副主幹** ありがとうございます。環境生活課の高坂といいまして、鹿対策の業務をさせていただきます。

まず1点目なんですけれども、市街地における鹿の対策なんですけれども、これまで市としてはやはり予防策として、交通事故対策ですとか、そういったものを中心に行ってきたんですけれども、我々としても抜本的な対策としては、やはり捕獲による頭数管理かなというふうに思っております。

近年は農業被害のほかに、我々環境生活課のほうでも、市街地のほうでの捕獲事業というものを実施しております、今年度は156頭ですけれども、捕獲しております。

また、今年度についても市街地周辺での捕獲というのを継続して、北海道に働きかけながら抜本的な対策として捕獲、頭数を減らしていくという対策を市としても取組を強化していこうというふうに考えております。

2点目が、王子製紙さんの敷地の件ですけれども、やはり社有地ということもありますので、我々鹿の対策的なところで、王子製紙さんとちょっと情報共有させていただく件もありますので、社有地における捕獲の部分ですとか、市としても何か協力できるか、王子製紙さんのほうにも働きかけを行いながら、社有地の中に定着している鹿もいますので、そういったものの対策的なものを王子製紙さんと協力しながら、ちょっと何か対策が取れないか、やはり市街地ですので、銃による捕獲とかというのはなかなか難しいエリアになりますので、何かわなをかけて対策ができないかということをご王子製紙さんとちょっと協力しながらやっていきたいなというふうに思っております。

最後、3点目の農園のお話なんですけれども、我々、今回農園ではないんですけど、一般家庭に向けての防護柵のネットの貸出しというのを本年6月からは実施しているんですけども、農園部分については、ちょっと今日は部局が別になるんですけども、農園のほうを担当している部局のほうとも、我々もちょっとそこは連携して、今日いただいたお話を基に、今利用料のお話もあったので、ちょっとそういったものも検討できないかということを含めて、そちらの部局とちょっと調整をさせていただきたいなというふうに思いますので、どうかよろしく願いいたします。

◆**市民** 農園でも個人で柵を建てようとする、正直なところ、10万ぐらいかかるんですね。なので、個人負担があまりにも大きい。もう鹿対策のためにやるんだったら、もう買ったほうが野菜も安くするし。それでは、もう本末転倒だと思っている。その辺もお考えいただきたいなと思います。

◎環境生活課副主幹 その辺もちょっと担当部局のほうにお伝えしたいと思います。

○司会 そのほか、ございませんでしょうか。

◆市民 一区町内会の・・・といいます。要望事項に対して、いろいろ親切に対応していただきましてありがとうございます。

その中で、1番目の花壇のコンクールがあったんですが、これの審査結果がちょっと聞いていなかったのも、もし民報を僕が見落とししたのかどうかは知りませんが、もし分かればお願いしたいと。

というのは、うちの花壇も会館の花壇もやったんですが、参加賞的なことで終わったよと僕のところに報告があったんですね。ほかのことは何もなかったし、それから、ちょっと別の予定で東京に行って3日か4日かいなかったですけど、その後に民報を見ていないので、民報に発表されたのかどうか、その辺のお知らせ、分かったらお願いしたいです。

それから、もう一つは、最近、雨、洪水とかいっぱいあちこちで起きています。苫小牧も沼ノ端のほうで水がいっぱい出たといいます。僕もいろんな、歩きながら、排水溝を見て歩いてですが、すごく落ち葉とか何かで埋まったり、そして、触ってみると固くなっているようなところもあって、結構メインの36号線とかそういうところは葉っぱがあまりないせいか、きれいなんだけど、こっち裏の中とか、こっちのMEGAドンキとかあっちの木場町のほうを歩くと、結構メイン道路の中でも埋まっているんですよ。

そして、周りに草が生えたり、いろいろしているんで、これの定期的な掃除だとか点検だとか、どういうふうにやっているのかな。

身内で、僕なんか町内会の周りは、会館周りは自分で見ながら、あるいはマンションの人ですね、それから、ホテルの人たちは一生懸命その辺やっているんですから、目の届かないところについて、草を刈っている。あの人たちが一生懸命やっているのか、あるいはどういう点検の仕方をして排水のああいふ処理を、水があふれないような形のせっかく造った排水溝ですから、どういう形で定期的に行っているのかどうか、分かればの範囲で結構ですが、お知らせしていただきたいと思います。

◎緑地公園課長 まちを緑にする会事務局で、緑地公園課の小山内です。よろしく申し上げます。今、手元に結果を持ち合わせていなかったのも、また後ほど、お話をさせていただきます。

◆市民 これは広報されたんですか。

◎緑地公園課長 はい。

◆市民 民報とかなんとか。

◎緑地公園課長 実は、あさって28日が表彰式なんですよ。なので、事前にお知らせしていましたが、また後ほどよろしくお願いいいたします。

◎維持課長 道路を管理する維持課の小田と申します。

今お話いただきました道路の雨水ますについてでございますけれども、まず、市内の道路、市で管理しています道路というのはおよそ1,000キロございまして、それは幹線、例えば三条通みたいなどころですと、1週間に1回、皆様のお宅の生活道路といわれるそういったものにつき

ましては月に1回、必ず回るようにしています。

あと、これ以外にも、例えば大雨が降る警報が出たりだとか、そういうときにもこの雨天の調査というのを行いまして、この間8月27日の大雨のようなときも出てまいりました水たまり箇所というのを必ず押さえるようにしています。

そういったところに、その原因が何なのかということ、葉っぱ詰まりなのか、それとも雨水枘自体が詰まってしまっているのかというのを確認しまして、そういうところは基本的にバキュームカーというのをを使って清掃するようにしております。

あとは、それ以外にも街路樹の葉っぱが大きいところですか、いわゆる落葉の問題が起きるようなところは、定期的に人力で枘の清掃とかをやってはいるんですけども、なかなか基数も個数も多いものですから、全て行き渡っていないという部分もございます。正直なところでは、

ですので、そういったことが分かりましたら、先ほどの73-5000番によろしければご連絡いただけますと、すぐに黄色い車が向かいますので、現地調査をさせていただきますので、ぜひご要望を寄せていただければと思いますので、よろしくお願いします。

○司会 よろしいですか。

それでは、次の方、いらっしゃいますでしょうか。2回目の方でも構いません。

◆市民 幸町の・・・です。お願いがございます。

苫小牧市議会のホームページ、その中で、会議録検索という項目があります。それをチェックしていきますと、いわゆるキーワードを入れてください。具体的にいうと、市長さんがこういう言葉を何回しゃべっている。あるいは議会でどういうことをしゃべっている。木村副市長さんがどういうことをしゃべっていたということを調べたいなというので、入れるフォームがあります。

そこをチェックしてやっていると、市議会の立場の方はあいうえお順で現れるんですよね。職員という項目を選びますと、職員はわけが分からない三上さんから始まって、齋藤さんで終わっているんです。あいうえおが、ひっちゃかめっちゃか。

簡単に言いますと、岩倉市長は212番目、それから、木村副市長は262番目、山本副市長は199番目、先ほどお話しさせていただきました白川福祉部長は312番目、あいうえお、かきくけこが全部でたらめです。そこを何とかしていただきたいなという気持ちがあります。町内会には関係ないかな。

○司会 これにつきましては、議会事務局のほうに、会議録検索システムについて、見やすいようにしてくれという意見があったという旨を伝えさせていただきますので、よろしくお願いします。

そのほか、いらっしゃいますか。

◆市民 大町の・・・です。

先ほどの部分を質問します。簡単なことなんですけど、すずらん通のグレーチングの目詰まりですね。全部じゃないんですけど、葉っぱが詰まって約7割近くから8割が詰まっている。水ははけないし、道路も寒くなるとごみも落ちないところがあります。よろしくお願いします。

それと、もう一点、三条通の住んでいる人から要望があったんですけど、歩道の街路樹が、それと、草も生えていますかね、雑草ではないんですけど。

◎市長 両脇の。

◆市民 草じゃない、街路樹の横に緑の仕切ってありますよね。それが歩道の面積の半分くらいを占めているんですよ。それで、見たら分かると思いますけど、冬でもそうですけど、歩道のところ歩く人と自転車がかわすのにちょっと大変な思いをします。

先ほどもちょっと本町のほうもいったんですけど、やはり街路樹の面積が半分近くなる。それで、三条通より、交通量が多いですよね、今イオンが建っているあそこの新しい道路っていうのはこちら、学校のほう、マックスバリュの前の線路のガードすみに出る歩道のところで、車道側に出ているんですけど、特に大町の人ですけど、先ほどもちょっと本町にもいたんですけど、それから錦町ですね、道路側じゃなくて、そして、大町の古い方の近く、歩道がかなりがたがたになって、ちょっと斜めになって、家のほうが高くて、歩道のほうが、車道のほうが斜めになっているんですよ。

ちょっとこれは街路樹とか横断歩道の面積の3分の1ぐらいの割合で、自転車と歩行者が十分に歩けるように、特に冬場になるとますます除雪が、幅が狭いので言ったらあれですけど、先ほども見てきましたけど、やっぱり狭いですね。

ただ、自転車と歩行者が交差する。街路樹の比率が多いものですから、これを何とか、よく見ていただければ分かると思うんですけど、よくなるように検討していただきたい。

それから、かなり傷んでいるんですよ、歩道がね。極端に斜めになっているところもありますので、これは子供たちの安全面を考えて、ぜひよろしくお願いします。

○司会 道路と街路樹の関係ですね。

◎維持課長 維持課の小田でございます。

先ほど、まず1点目のすずらん通りの雨水ますの蓋がかなり詰まっているということだと思っただんですが、歩行者が多いものですから、雨水ます自体、先ほどおっしゃったグレーチングの蓋を足が落ちないように少し細いものを使っています、それで余計詰まりやすいというのもございますけど、まず一度、現地で確認させていただきまして、状況によって、先ほど言いましたように、清掃車で清掃するなり、対応をさせていただきたいと思います。

2点目の三条通の歩道が街路樹等で歩道幅が狭くなってしまっていると、木も大きくなってきますし、おっしゃったように老朽も進んでおりまして、今年度、まず車道は駅前通から王子の正門あたりぐらいまで少し補修する工事を今これからやろうと思っているんですけども、今後、今お話がありましたように、ちょっと時期がいつからというふうにはお話しできないんですけども、歩道のほうについても検討をちょっと進めてまいりたいというふうに考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

○司会 よろしいですか。

そのほか、ご発言ある方はいらっしゃいますか。挙手をお願いします。

◆市民 すみません、一区町内会の・・・です。

要望事項の中で、エガオの安全性について要望しているでしょう。その中で、ずっと読んでみたんですが、前も読んだんですが、「建物の調査や地質調査予定となっております、建物の安全性に

ついでに各種調査、点検を実施しております。」とあります。

実施している結果がどのようになっているかということがきちっと報告されていないと僕は思っているんですよ。この間も、前に挙げたら、ボーリングみたいなのをあそこの前に立てて、調査をしていましたね。あれは何をやっているのかなと、歩いている人にも聞かれたんですよ。

それで、エガオの調査は、何の穴を掘ってああしてやっているんだと聞かれましたので、いろんなことをこの令和5年度にはアスベストなんかのこともやる予定でなっておりますから、今の現状の状態は、点検した結果、調査した結果、どういうふうになっているのか、あるいは、今後どうそういうものが安全に推移できるのか、その辺までちょっと具体的にお伺いしたいと思っています。

◎未来創造戦略室長 私、総合政策部の未来創造戦略室の成田と申します。よろしくお願いします。

今のエガオの点検なんですけども、点検方法は目視、業者さんが目視で壁等の劣化具合を毎日見ております。外壁が落ちる落ちないを含めて、これは調査記録として残しております、今のところ特段、危険な状況じゃないというふうになっております。

もう一点、今、ボーリング調査というところなんですけども、今、駅前の周辺のビジョンを昨年度作りまして、今後、エガオビル解体も含めて、いろんな調査をしていかないといけないということで、その一環で、地質の調査をしたりして、今後の、まだ具体的に何か決まっているわけじゃないんですけども、そういった調査をして、地質の調査で、例えば解体にどれぐらいかかるのかとか、そういうこともそういう調査結果を基に積算するものですから、そういう調査ですとか、ビルそのもののアスベストの調査も今やっている最中、これからですので、経過もあれなんですけれども、そのようなまずは基本的な調査を行っているというような状況でございます。

ですから、今やっているのは地質調査ということでございます。

○司会 よろしいですか。

そのほか、ございますでしょうか。

◆市民 一区町内会の・・・です。

この場の発言でいいかどうかはあれなんですけども、私、中学2年の長男がおりまして、リーダー養成事業に参加させていただいております、こども会議ですとか、先日も八王子に行かせていただいて、市長にはいろいろお世話になりました。ありがとうございました。

それで、子供からちょっと質問されたことがありまして、リーダー養成事業のランクが9ランクあるというふうに市のホームページには書いてあるんですが、その具体的な内容が分からない。

市からリーダー養成事業の賞状みたいなものが何回か送られてきたんですけど、今、自分がどのランクにいるのかが分からないと、バッジももらったんですけど、それが分からない。

それで、こういうランクがありますよ、というのを市ができれば提示していただければ、子供たちも目標になるのではないかと、というところがありまして、できればちょっと市のリーダー養成事業のページを刷新していただいて、こういうランクがありますよ、という表示をしていただけないかなというお願いです。

○司会 ありがとうございます。よろしいですか。

◎副市長 私のほうから。リーダー養成事業、いろんな研修なんかがありますので、そういったものを受けることでランクが上がってくるんだと思うんですが、その辺はおっしゃるとおり、自分たちがどのランクにいるのか、賞状が何の賞状なのかというのが分からなければ意味がございませんので、その辺、ホームページ等々の原課のほうに一度伝えて、作り具合がどうなっているかも確認させていただきながら、分かりやすい形になるように原課のほうには伝えたいと思います。

◎市長 後で電話番号を覚えておいて、返事させるから。

◆市民 ありがとうございます。

○司会 その他、ございますでしょうか。

◆市民 幸町町内会の・・・です。

ちょっと町内外のご婦人のことなんですが、生活保護をいただいている、もう体が、ちょっと糖尿病がありまして、歩くことの困難な彼女なんですが、病院に行って市に報告をしなきゃいけないといったときに、態度がすごくあまりよくなかったそうなんです。

すごいけんまくで言われて、彼女は病院に行くのも我慢してずっといたんですよ。だんだん病気もあんまりよくなって、私が、行ったほうが良いと言って、行き出したんです。一時期、去年あたり新聞にも載ってましたよね、民生委員の人の、市の態度があまりよくないということで、彼女は本当に行きたくても行けない状態でした。

そして、本人、今日ここに来たらいいんじゃないと話をしたんですが、相手もちょっと大変なので、私、迎えに行くと言ったんですけど、ちょっととても歩けないのでということだったので、やっぱり働かなきゃ、働きたくても働けない人もいるし、体の具合が悪いときに、やっぱり市の方の対応なりがもうちょっと親切にしていだけないと、やっぱりそういう体も不自由で、働きたくても働けない人たちのそういう態度が、市のほうがあまりよくなかったって。

◎市長 市の職員？

◆市民 そうです。

◎市長 民生委員？

◆市民 いや、保護をもらっている方が、症状を市に報告をするそうなんです。病院に行くときに、何月何日に病院に行きたいというときに。何かそういう態度があまりよくなかったそうなんです。それで、彼女は我慢をして、行かない状態でずっといたんですけど、やっぱり行かなければもうだんだんよくなって病院に行ったということがあったものですから、そういう話も聞いていたものから、何かその辺の市の態度がもうちょっと親切にしてあげないと、そういう人たちは本当に大変な中で生活をしているので、その辺をよろしく願いしたいなと思いました。ありがとうございます。

◎副市長 ただいまのお話、・・・さんのお話にもつながるようなことで、私どもも、そんなに市職員の対応に対するご批判があるのはちょっと耳が痛い部分もありますし、そこはしっかりと市民のためにどういった説明、どういった対応ができるのかということは、いま一度、しっかり伝え、指導教育できるように私も伝えていきたいと思いますので、本当に申し訳ございません。

○司会 その他、ございますでしょうか。

◆市民 何回もすみません、・・・です。大町の。

お礼が言いたいんですけど、今現在、大町の親不孝通り、3年ぐらい前に要望しておりました歩道の整備、今工事に入っております。ありがとうございます。いつ完成かは分かりませんが、要望しておりましたので、実現しております。ありがとうございます。

○司会 ありがとうございます。

その他、ございますでしょうか、いらっしゃいませんか。

それでは、いらっしゃらないようですので、意見交換のほうを終了させていただきます。

それでは、最後に本日のまちかどミーティングの終了に当たりまして、岩倉市長よりご挨拶をさせていただきます。

◎市長 いろいろご指摘、ご質問等をいただきまして、ありがとうございました。

これまでもそうですが、すぐできることはすぐに対応しますし、時間がかかることについては時間がかかりますとお断りをするところもあるかと思えますけれども、今日、ずっと毎年のように出てくる問題、一つは街路樹の問題があります。

苫小牧は昔からフラットな地形なので、僕の小さいときは、色で言うとグレーのまちというふうに言われたものでした。ゆえに、先輩世代が、何とかフラットなまちでも緑豊かなまちをつくらうということで、今は街路樹比率も都市公園の人口1人当たりの面積もトップクラスなんです。

ところが、この10年で、伸び過ぎて切ってくれという話が多くなり出して、やはり難しいなというふうに思いながら、しかし、市民の皆さんの安心安全につながるということについては優先的に対応しなくてはなりませんし、さっきも担当が言っていました、市道だけで1,000キロ以上ある苫小牧のまちなので、東西に長いのであまり市民の皆さんは感じないかも知れませんが、市道の距離というのは非常に長い都市でありますので、何かやるといっても計画的にいろいろやっているんですが、やはり順番がなかなか遠いところもあるということで、何かあったら市のほうに声をかけていただければ、現地を見せていただいて、すぐやらなきゃいけないことはすぐにやっておりますので、ぜひ声を届けていただきたいというふうに思いますし、前回のまちかどミーティングから、除雪の話も出てきました。

シーズン前には除雪業者さんに集まってもらって、除雪会議というのを必ずやって、市民の皆さんの声を伝えながらやっているんですが、やっぱり苫小牧はオペレーターの人が苫小牧にいても稼げないので、最近はやはり空知のほうに行って稼いでくる。

上手なオペレーターはみんな外に出ちゃって下手なオペレーターしかいないという。雪の少ない苫小牧なりの事情もあります。もちろん待機料というのは業者さんに払っているんですが、そんなにたくさんの待機料を払えるわけではないので、やっぱり稼げるところに行くと稼いでくるという。これはもうやむを得ないなというふうには思いますが、できる限りいろんな話があると、・・・さん、今年、雪を降らせませんからと言うしかないんで、何かあったらこれも市のほうに一報、ここを何とかしてくれと。うちの前もそうなんです。せつかく朝、女房と除雪しても、その後に入ってきて、また置いていくので、これもある程度やむを得ないことかなと思

ながら。

それから、鹿の話もそうなんですが、北海道全体がやっぱり鹿が増えているようでありまして、特に苫小牧がやっぱり増えて、何で苫小牧のまちが好きなのかなと思うぐらいに。

うちの五、六年前、庭が全部やられました。それで、フェンスの上にまた網を造って、それから少しよくなりましたが、僕は神社の下なものですから、北側の住宅がみんな対策するから、どんどん南に行っちゃって、群れで今市街地にも出ています。

こればかりは、究極の対策は、鹿の天敵はオオカミなので、オオカミを持ってくるしかないなというふうには思っていますが、しかし、最近はやはり車との交通事故がかなり大きな事故も多いので、いろいろ警察等も含めて対策をしているところですが、鹿だけは本当に難しいなというふうに思っていますが、我々でできることはしっかり対応したい。さっきも150頭強、毎年処理をしていますけれども、多分そんな数では追いつかないほど、鹿がどんどん増えているわけがあります。

最後になりますけれども、・・・さんが言った議会のページ、僕は見たことないんですよ。本当に今初めて聞きました。

◆市民 お暇なときに探してみてください。

◎市長 チェックしますけれども、ただ、行政の中に議会があるわけじゃなくて、議会は独立した組織ですので、議会事務局のほうにしっかり伝えて、もっと見やすい、分かりやすいということは、我々も行政でもしっかり大事なことだなというふうに思っていますし、今日は越川議員が来ておりますので、越川議員、頼むよ、見たことある？

◆議員 あります、あります。

◎市長 ある。

◆議員 おっしゃられるとおり。

◎市長 やっぱり分かりづらい。

◆議員 そうですね、議員のほうはちゃんと並んでいるんですけど、市の職員のほうは発言の通り。

◎市長 じゃあ、越川市議、責任を持ってやると言っていますから、少し時間がかかるとは思いますけど、一度、時間が経過したらチェックしていただきたいと思います。

それから、ゼロカーボンのほうも聞いていただきました。心からご出席いただいた皆さんに感謝を申し上げまして、最後のご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

○司会 以上をもちまして、まちかどミーティングを閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。